

樋井川・発・まちづくり通信

発行人：樋井川・発・まちづくり実行委員会（樋井川を楽しむ会）
発行日：H17.1.7 問合せ：733-6453（代表：上園）
HP「樋井川探訪」 <http://hw001.gate01.com.zono70/page030.html>

vol. 3

謹賀新年 2005年

会員みなさん、新年あけましておめでとうございます。短いお正月休み、いかがお過ごしでしたか？昨年4月にスタートしたこの活動も、みなさんのご協力のおかげをもちまして、毎月の定期清掃に加え、「樋井川歩こう会」(4/18)、「樋井川いかだまつり」への参加(9/19)、「樋井川環境調査」(11/27)など楽しく実施することができ、たいへん充実した2004年だったと思います。

2005年はぜひ、地域の方々を仲間に引き入れて、これまで以上に活動を盛り上げていきましょう！本年もどうぞよろしくお願いたします。

2005年の樋井川定期清掃は、

2月6日(日)スタートです。

場所は後日お知らせします。

呑みながら樋井川を語る会

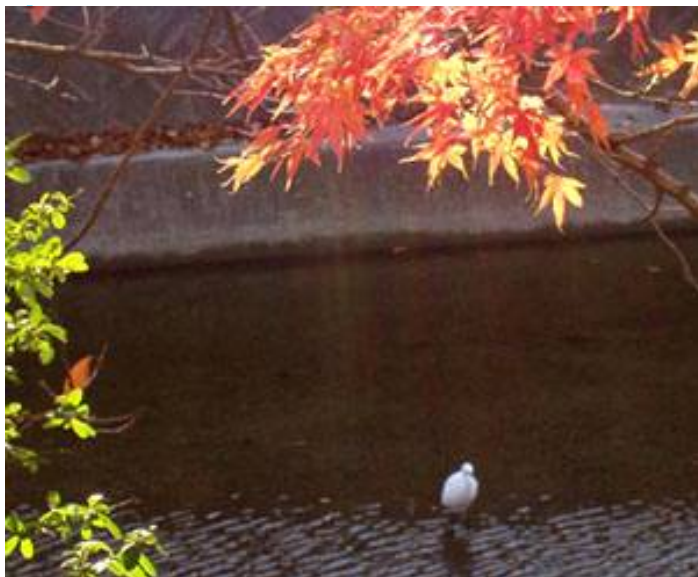
不定期ですが、樋井川を熱く語る「呑んべえの会」も行っています。川のせせらぎが聞きながら、冷たいのや熱いのグイーツと1杯！飲んで、食べて、大いに語りまっしょよ！！（呑んべえ大将：上園）



愛称は「樋井川を楽しむ会」

樋井川を舞台に、今後いろいろな活動を展開していくには、地域の方々にこの会の活動をよ～く知ってもらわなくちゃなりません。定期清掃にしても、ただ黙々と行うのではなく、周辺住民にどんどんPRすることが必要です。そこで、**団体名の「樋井川・発・まちづくり実行委員会」に、親しみやすい愛称をつけて、たくさんの方に覚えてもらおう！**そして、活動のたびに**団体名愛称のノボリを立てて、う～んと目立とう！**ということになりました。

8月に行った「呑みながら樋井川を語る会」で、あ～でもない、こ～でもないといろいろ検討した結果、愛称を「**樋井川を楽しむ会**」に決定しました。



さっそくノボリを発注し、9月に完成。ご覧のとおり、目が覚めるような、さわやかな青色です。「樋井川いかだまつり」から使用を始め、定期清掃のときも必ず掲げることになりました。

このノボリを目印に、地域の方々が活動にたくさん参加してくださるよう、会員みなさんもPRにがんばりましょう！



フムフム・・・このノボリが目印ばいね。どれ、わしもいっちょ、参加してみようタイ。

樋井川を楽しむ会

樋井川いかだまつり参加(9/19)

活動ダイジェスト

「樋井川いかだまつり実行委員会」の主催により毎年9月に行われるイベントで、手作りいかだのアイデアを競うコンテストです。会の活動をPRする絶好のチャンスということで、小中学生の参加者に混じって、急きょ「大人の部」を新設してもらっての参加でした。コンテストの約1ヶ月前からいかだの構造やパフォーマンスについて作戦を練り、準備を始めたはいいものの、いかだ作りなんて初めてという人ばかり。「浮かぶやるか?」「人が乗ったら沈むっちゃんない?」・・・それでもどうにか前日にリハーサルを終え、本番を待つことに。

当日は好天に恵まれ、大勢の見物客で賑わいました。わがチームは樋井川のサギとカメを主役とし、川にゴミを捨てないよう、来場のみなさんに呼びかけました。

川にゴミを捨てると 地球が汚れる ポイ捨ては許さん!!

また、会の活動をPRするウチワを作って見物客に配布したところ、大好評でした。そして、いかだコンテストでは見事、特別賞の栄冠に輝きました！

パチパチパチ

いかだの組み立て



これが主役のサギとカメ



ポイ捨ては許しません!!



やったぁ！ 特別賞！



樋井川環境調査(11/27)

樋井川で昔ながらの水遊びをしたい、お花見をしたい、河川敷でバーベキューをしたい、あんなイベントもこんな遊びもしてみたい・・・夢は様々ありますが、じゃあ、実際に今、樋井川でどんなことができるのかなぁ？ その可能性を探ってみよう！ ということで、「樋井川環境調査」を実施しました。

約20名の参加者が、鳥飼の塩屋橋から福大通り上にある樋井川橋までの約4キロの川沿いを歩いて、水量、土手や河川敷のようす、川で見られる生きものや植物の状況などをチェック。車だとあっという間に通り過ぎてしまう道のりも、歩いてみるといろんなものがよく目につきます。それにしても、何というゴミの多さ・・・。ビニール袋や空き缶類は言うに及ばず、ゴミ収集日に出し忘れた家庭ゴミをそのまま投げ込んだようなものや、自転車や電化製品など、本当に嘆かわしい限りです。川の水はそう汚れているようには見えないのに、人間が出したゴミで川が埋まってしまいそうな感じでした。

そんな中でも、水鳥や魚たちは元気な姿で私たちに安らぎを与えてくれました。生きものに優しい環境は、私たち人間にとっても住みやすい環境のはず。今回の調査を通して、「樋井川を楽しむ会」活動の大切さの認識を新たにしたところです。

「樋井川環境調査」の結果は、福岡大学の学生メンバーのみなさんが集計・分析中です。結果がまとまり次第報告しますので、どうぞご期待ください。

ダイサギ



アオサギ



カメ



調査終了後に記念撮影



こんなゴミの捨て方に怒!!

